

# 令和5年度予算編成の基本方針について

## 1. 国の動向

政府は、「経済財政運営と改革の基本方針 2022」(骨太の方針)において、新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵略、気候変動問題等、我が国を取り巻く環境変化や、輸入資源価格の高騰、人口減少・少子高齢化、潜在成長率の停滞、災害の頻発化・激甚化等、国内における構造的課題など、内外の難局が同時かつ複合的に押し寄せている状況に鑑み、持続的な経済成長に向けて、官民連携による計画的な重点投資を推進、危機に対する必要な財政支出は躊躇なく行い、万全を期すとし、「令和5年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について」を閣議了解とされた。

また、内閣府10月の月例経済報告では、『足下の物価高への対応に全力をもって当たり、日本経済を必ず再生させる。このため、「物価高・円安への対応」、「構造的な賃上」、「成長のための投資と改革」を重点分野とし、世界経済の減速リスクを十分視野に入れつつ、経済情勢の変化に切れ目なく対応し、「新しい資本主義」を前に進めるための総合経済対策を策定する。その裏付けとなる補正予算を今国会に提出し、早期成立に全力で取り組む。』と報告され、政府で、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を10月28日に閣議決定したところである。

## 2. 本市の財政状況と課題

本市は、歳入一般財源において、市税等自主財源の収入率向上に努めているところであるが、物価高による家計負担や人口減少と高齢化などにより、厳しいものになることが予測される。また、本市の財源の中で最も大きなウェイトを占める地方交付税も国の財政拡張に伴う国債発行の増大などにより先行きが不透明なことなどから、けっして楽観できるものではなく、市町村交付金等もあわせて、国の政策や財政状況、経済状況に大きく左右されることから注視が必要である。

歳出においては、子育て支援の充実や高齢化社会における社会保障費の増加、デジタル化、コロナ禍への対応、グリーン社会の実現に向けた取り組みなど、住民の安全や生活を守るための費用が求められ、加えて、賃金引き上げや資源価格、原材料価格の上昇により、各種費用において大きな影響を生じることが想定される。

### 3. 予算編成への取り組み

「第6次富良野市総合計画」が令和3年度からスタートし、新年度より中期基本計画が実施される。計画に掲げられた目標の達成に向け、限られた財源をこれらの事業に効果的に配分することが求められ、「すべての市民が健康で生きがいを感じ、安全で安心して暮らし、幸せが実感できるまちづくり」の実現に取組む。

新年度の予算の編成にあたっては、総合計画に盛り込まれた事業が着実に実行できるよう配慮し、継続事業においては、市民ニーズ等を踏まえた感染症対策や物価高騰対策を講ずるなど、社会経済環境の変化を捉え、これまでの価値観や発想に捕らわれることなく、事務事業の前向きな見直しを行い、限られた財源をより効果的な事業へ配分し、将来にわたり持続可能な財政運営が図られるよう、健全財政の維持を図る。また、国における予算編成や地方財政対策への対応などの動向を積極的に把握し、的確に予算に反映するものとする。

#### 〔基本方針〕

##### (1) 第6次富良野市総合計画の推進

中期基本計画をスタートする第6次富良野市総合計画・総合戦略に掲げる目標の達成に向け、施策の基本的な考え方方に十分配慮する。

##### (2) すべての市民が健康で生きがいを感じ、安全で安心して暮らし、幸せが実感できるまちづくり

市政に関する所信表明における基本的な考え方に基づいた議論を行い、具体的な施策の展開を図る。

##### (3) 持続可能な財政基盤の確立

創意工夫による歳入確保に努めるとともに、部内の主体性を持って、施策の優先順位を明確化し、「事業の選択と集中」を踏まえ、重点化を図った予算編成に取り組む。

職員一人ひとりが社会情勢と市民ニーズの的確な把握に努め、将来的な負担についても慎重に検討し、限られた人的資源や財源を有効活用できるよう知恵と工夫を凝らし、課題解決に取り組むこと。